会 報

2013-14 井田 Vol. 34
2014 / 4 /24

つくば学園ロータリークラブ

TSUKUBA GAKUEN ROTARY CLUB DISTRICT 2820 R.I.

It is the 28th year since 1986

4月24日（木）第2回職場訪問、親睦例会報告

Index

職場訪問:塚田陶管（株）／親睦夜例会／その他

第2回職場訪問：塚田陶管（株）

塚田会員より会社創業からの概略を説明頂きました。

昭和27年に真壁郡で陶器の製造から始まりました。しかし、陶業は斜陽産業となり、昭和33年につくば・土浦地域で新たに砕石事業を始めました。

昭和39年に東京オリンピックが開催されました。その頃は日本の各地で盛んに建設が行われていました。砂利の道路は整備され、アスファルトの舗装道路に変わり車社会が到来しました。つくば地域の道路や筑波大学の建設に、当社の砕石が使われました。

しかし、平成5年には、資源循環型社会への取り組みにより、公共工事等の現場では、骨材の再生品が使われるようになり、以前ほど砕石が使われなくなりました。

昭和33年からの55年間、山を掘り続けた結果、平成20年に採石地の石を掘り尽くしてしまいました。事業継続のため、新たな採石地を許可してもらえるように、県と交渉しました。採石の仕方について、地域住民の意見を取り入れ、山の景観に配慮し、緩やかなこう配で採石を行うことで、新たな採石地の許可をいただきました。また、「ふるさとの山づくり計画」に取り組み、採石跡地の修復も行っています。これは採石事業において、モデルケースになろうとしています。

現在は、つくば、新治、土浦、地域で採石を行っています。最盛期には1日ダンプカー約700台分、1万トン以上の砕石を出荷していました。現在は1日ダンプカー400台分の砕石を出荷しています。砕石の価格

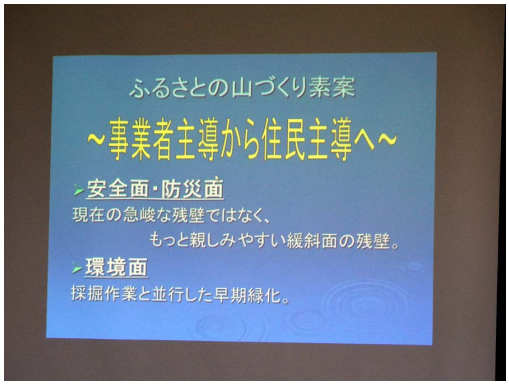
は現在1キロ1.5円で、ダンプカー一台で約15,000円です。つくば学園都市の開発当時は、相当な量を出荷させていただきました。

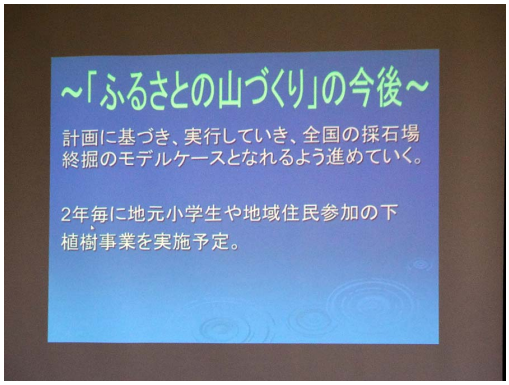
町の発展は、まず平面的に発展し道路ができます。開発が進むと、鉄道や建物が建設され、立体的に発展していきます。骨材の需要も、アスファルト用の砕石から、建築コンクリート用の骨材へ需要も変化していきます。どの業界も同じですが、時代の変化、需要の変化に対応し、会社も変化しなければならないと思います。

続いて、工場長より会社事業の詳細をご説明頂きました。

宝暦5年（1755年）に真壁郡にあった塚田陶管という会社が始まりで、陶土器の製造をしていました。昭和26年に株式会社となり、昭和34年に土浦市に移り、砕石工場として事業を始めました。つくばの開発とともに、プラントを建設し、中間処理プラント等も増やしながら事業を運営しています。山の新しい開発として、平成20年から「ふるさとの山づくり計画」に取り組んでいます。つくば市から見える大形山の砕石跡地が事業エリアです。工場には約40名の社員がいます。プラントの1日の生産能力は、最大で約1万トンです。現在は概ね60～70％の稼働状況です。採石地の面積は約80ヘクタールです。

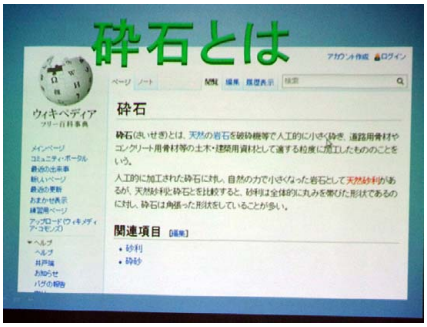
つくば市と土浦市の境をまたぎながら、国有地と民有地の採掘エリアがあります。最上部はふるさとの山づくり計画の拡張エリアです。今から20～30年かけて、山の形をもとにもどすという取り組みをおこなっています。「ふるさとの山づくり計画」は、官庁・大学・民間事業者そして地域住民が協力し、砕石事業を継続しながら、山の景観を緑に戻していく共同事業です。昨年の5月に地元の小学生や地域の方々、そして、つくば市市長にも出席していただいて、植樹祭を行いました。最終的には、山の砕石跡をなだらかなこう配にし、山のはげた部分に木を植樹して自然の景観に戻していく予定です。「ふるさとの山づくり計画」をご理解いただく為に、色々な方面にアピールしています。全国の採石場のモデルケースとなれるように、色々な試みを行っています。

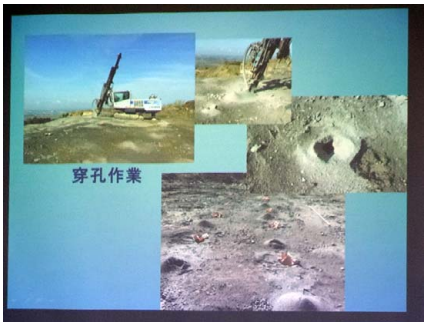




砕石とは何かについて

砕石とは、天然の原石を破砕機で人工的に砕き、道路やコンクリート用骨材などの土木用建築資材として、適した大きさに加工したものです。人工的に加工された砕石に対して、自然の力で小さくなった原石を砂利と言います。天然砂利と砕石を比較すると、砂利は丸みをおびているのに対して、砕石は角張った形をしています。砕石を天然砂利に近づける為に機械で丸く加工します。加工時にロスが出るため、製品化率が悪くなります。しかし、市場では天然砂利の様に丸い形の製品が求められています。木を伐採し、根を取り除き、土を除去すると、岩盤が出てきます。その岩盤に発破を掛ける穴を開けていきます。1.5～2メートル間隔で複数の穴を開けていきます。その中に火薬を詰めて発破をします。火薬の力で砕かれた原石を、破砕設備に投入し、砕き、振るい分け、場合によっては洗浄し、砕石に加工します。そして、大きさによって分類し販売します。砂は2.5ミリ以下の砕石で、粉分を取り除き洗浄したものです。道路舗装は砕石75％、砂20％、アスファルト5％で作られ、大半は砕石が使われます。車が走るために道路が必要で、道路を造るためには砕石が必要になります。また、コンクリートも70～80％が砕石です。





砕石現場での説明

広大なスケールで素晴らしいロケーションです。牛久の大仏も見えます。傾斜は20度近くあります。
約80ヘクタールの敷地があります。ゴルフ場の全18ホールを作る事が出来る広さです。
大きな雨が降ると、百万円単位の損害がでます。

原石を採掘するまでに手間がかかります。一番底の上質な部分はコンクリートに使います。

昔は、残土を現場で使っていたのですが、現在は用途がなく全て倉庫に保管しています。

松の木材は椎茸栽培木として売れたのですが、今は放射能の風評被害で、売れなくなりました。

親睦夜例会：飯田次期会長

飯田次期会長より

2014-15年度のRI会長メッセージは「ロータリーに輝きを」です。「暗闇の中で、不満を言っているよりも、一人でも多く、ローソクをともそう。ローソクをともすことが、多くの人に広がることによって、世の中を明るく照らす事ができる」という、孔子の教えが原点になっています。孔子の教えに心を動かされたRI会長は、2014-15年度のテーマを「ロータリーに輝きを」(Light Up Rotary)とすることを発表しました。

RIの運営目標は会員の増強・ロータリーファミリーの拡大、ロータリーの認知度向上、そしてロータリーデイの活用、ポリオ撲滅寄付、RI戦略計画の中核となる活動、ロータリー財団の支援です。

地区目標としては、藤井ガバナーの掲げる「固めよう、奉仕を通じて地域社会に貢献を」です。3%の会員増強、クラブ純増1名が目標です。奉仕と地区補助金の活用については、本年度もダン魂の企画を申請しています。グローバルグランドについては補助金の有効な使い方を検討しています。

ポリオ撲滅活動、ロータリー財団への支援については、会員各位、財団へ130ドル、ポリオ撲滅に20ドルの寄付を集め、米山奨学基金につきましては、一人2万円の拠出をお願いさせていただきます。

私のテーマは「奉仕からの絆」です。
奉仕活動を行う事によって、会員同士の絆、地域社会の絆、国際社会との絆を結び、ロータリーの基本である奉仕をさらに進める事ができると思います。よって「奉仕からの絆」をテーマとさせていただきました。

また次年度に迫った30周年に向けて、輪を組んだクラブを作りたいと思っています。会員の団結を強くして、会員の増強を図り、パワフルに皆が活動できるクラブを作っていく事を目標としていきたいと思っています。また地域の認知度を高めて、地域の人々と連帯して奉仕活動が行えるようなクラブにしていきたいと思います。

米山会員の増強や既存会員同士の融和、そして新規会員の勧誘、新入会員にも気軽に声がかけられるような夜例会の企画も行っていきたいと思っています。

地域での奉仕ネットワークの創出ということで、井田会長の時に、ライオンズクラブや青年会議所などの他のクラブ間との交流をいっそう進めて行きたいと思っています。続いて継続事業の活性化については、何かをプラスできるような、継続事業の見直しをしていきます。30周年記念事業への検討という事で、ロータリー基金の使途について、30周年記念事業などに有効に活用していきたい。グローバルグランドの利用を含めて、30周年に向けた記念事業を検討していきます。それから地区目標達成の為に、1年間皆様のご協力をいただきたいと思いますので皆様よろしくお願い致します。

4月24日会場スナップ

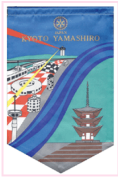
プログラム予告 ・5月・地区関係・ローターアクト

5月 9日	移動例会3クラブ合同夜例会　会場:ホテルグランド東雲	19:00～
	•18:30～　受付開始　•19:00～　開宴　•21:00　終了解散	
5月15日	例会　新入会員卓話 和田哲郎会員	12:30～
5月22日	例会　招待卓話 サイバーダイン社	12:30～
	会員･奥様誕生､結婚祝 4月ニコニコ大賞	
5月29日	移動例親睦夜例会	19:00～
	「ガーデン･パーティー」会場 ： ﾊﾞｯｸﾔｰﾄﾞ（青山会員のお店）	

つくばオールロータリアンＦａｃｅｂｏｏｋ同好会は、つくばの3クラブのロータリアンとローターアクト、インターアクトの情報などをＦａｃｅｂｏｏｋ上で共有しています。皆様、ぜひご活用ください。
（つくば学園・つくばシティ・つくばサンライズ・ローターアクト）

４つのテスト

1．真実かどうか
2．みんなに公平か
3．好意と友情を深めるか
4．みんなのためになるかどうか



友好クラブ

京都山城ロータリークラブ（第2650地区）

つくば学園ロータリークラブ
〒305-0047 茨城県つくば市千現２丁目１番６
つくば研究支援センターＡ２８
電話　029-858-0100　FAX　029-858-0101
Email ： gakuenrc@46gama.com

例会日　木曜日　12:30～13:30
例会場　「オークラフロンティアホテルつくば」
つくば市吾妻1丁目1364－1

ホームページもご覧下さい
http://www.46gama.com/